



都民ファーストの会 中野区議団
内野 大三郎



防災対策

避難所表示板は経年劣化や傷みの目立っている場所が多いが、点検頻度と基準は、避難所開設訓練時や備蓄品の入替時に点検を実施し、表示の可読性や汚損等の状態を確認している。

答 検討を進め、管理体制の強化を図っていく。

中野駅周辺の治安対策

犯罪や迷惑行為が行なわれないよう、警察と連携し、重点対策エリアに指定しては、関係部署と連携して協議することを検討する。

の関与を強化すべき段階では、対応を検討し、地域の安全・安心の確保に努めていく。
なかの区報
クロスワードなどゲーム性のあるコーナーを設けては、研究していきたい。
中野区検定と連動し郷土愛醸成の政策ツールとしては、どのような連携が可能か検討していく。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
酒井 たくや



新北口駅前エリアの再整備

拠点施設への商業施設の誘致は、中野駅周辺を面で捉え、差別化を図ることで、それぞれの商業施設・地域の魅力が高まる。見解を伺う。

中野らしさやサンプラザから継承すべき価値を明らかにする必要があると考える。中野駅橋上駅舎等は令和8年12月に竣工予定で、ホームドア整備は急務である。中央線、総武線の整備状況は、橋上駅舎等の完成に合わせホームドアが整備されるよう、JRに働きかけている。

間、5カ所の配置に拡充する。仮校舎にはプールが無く、授業の確保を提案してきたが、水泳指導の実施方法を伺う。
バスを利用し、中野中学校のプールで授業を実施する。改築に当たり樹木は全て伐採、池の鯉も他校で飼育と命あるものが何も残らない。鯉が戻れる環境を整備しては、必要な整備を検討する。



自由民主党議員団
市川 しんたろう



中野駅周辺まちづくり

中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画が改定されても、都市計画道路やデッキ、都市施設を定めた都市計画は変更すべきではないのでは、都市計画施設や地区施設は、既に進んでいる事業との整合を図るためにも、変更するべきではないと考えている。

変更しないことを前提とした施設配置や整備に関する事業者提案をしようというところでよいか。
都市計画施設等を踏まえた計画とすることを示している必要があると認識している。
中野五丁目地域では三番街を中心に、防災等をテーマにまちづくりの勉強会が行われている。当該地区の取り組みについては、継続されるのか。まちづくりの実現に向けて取り組みを進めていきたい。
開町の名を後世に伝える方策としての銘板は、具体的にどこに設置する予定なのか。
新北口駅前広場に設置することを検討している。
区役所のソトニワにある犬の銅像を銘板の横に置けば、歴史の理解度が深まるのでは。
発信力のある場所への活用も視野に入れていく必要があると認識している。



公明党議員団
白井 ひでふみ



学校給食の拡充

高騰する食材の予算を増額し、有機野菜や行事食等も拡充するべきではないか。
予算を大幅に増額するため、対応できると考えている。

交通安全のため、自転車用のカーブミラーは設置できるか。
対象の車両に含まれる。
道路に通行支援のための手すりの設置は可能か。
交通の支障の有無や住民との調整により判断していく。
高齢者や障害者に配慮し、坂道等に積極的に設置しては、手すりの設置を進めたい。



日本共産党議員団
武田 やよい



東中野駅東口周辺まちづくり

東中野駅東口のバリアフリー化について、JRが具体的に調査するとの報告があった。どの程度のバリアフリー化を想定しているか。
駅ホームから改札、自由通路階、北側・南側の地上までの経路のバリアフリー化を実現するよう検討を進めている。

東中野駅東口のバリアフリー化は、半世紀以上にわたる長年の地域要望である。必ず実現できるように区長も含め、交渉に当たるべきではないか。
必要に応じて、鉄道事業者への直接の要請も含め、密に区との補助要綱等を参考にし、制度内容の検討を進めていく。

止水板の設置補助

都が第二桃園川幹線の整備を進めているが、対応できる雨量が1時間50ミリ程度のため、対応できない場合が危惧される。止水板の設置補助を早急に進めるべきでは。
各区で設置補助の形態は様々なため、検討に当たり、他区の制度を調べるとともに、被害が発生している地域の方から意見を聞き、柔軟な制度設計にしていけるべきでは。



桃園第二小学校仮校舎の課題

仮校舎はキッズ・プラザが未整備である。児童が帰宅せずとも放課後を学校で過ごす居場所事業の取り組みは、教室と校庭を活用し放課後の居場所事業を実施する。もみじ山通りは、歩道の幅員が狭く、交通量も多い。島忠前の交差点は多数の児童が滞留するが、安全対策は、通学見守り員を1350時間、2カ所から3375時間

令和7年度は、費用が4万円以上の場合上限3万円以下の場合上限4分の3を助成したが、令和8年度は、都の減額分を負擔し、区民への助成額を維持する。時限的な事業であるため、しっかりと広報すべきでは。区民に広く周知する。

給付型奨学金事業

返済助成や基金の創設、寄付金の活用等を十分に検証し、条例を制定すべきでは。検討を進めていきたい。

東中野駅周辺のまちづくり

東口周辺のバリアフリー化のためのJRとの協定の調査結果は如何に示されるのか。
施設計画の概要や事業スキーム等を示す予定である。名称変更ではなく、全体のまちづくりを進めては、地域の将来像の実現に向け、まずは東口を優先して進める。その他の地域においては、機運を見ながら検討する。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

- 時候の挨拶状の送付
 - 中元、歳暮等の贈答
 - 慶事、弔事についての廃止事項 ①祝儀、香典、供花の贈与 ②祝電、弔電等の発送
 - 病気等の見舞いにおける金品等の贈与
 - 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
 - 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等
- 贈らない 求めない 受け取らない
- 虚礼等廃止の主な事項

スマートウェルネスシティ調査特別委員会視察報告



1月15日(木)から16日(金)に、京都府京都市の「歩くまち・京都及びプラスせんぼ」についてと、京都府八幡市の「やわたスマートウェルネスシティ計画」について視察を行いました。写真は京都市での様子です。